日本車両 価値創造のあゆみ

創業以来、新幹線をはじめとする鉄道車両から橋梁、輸送用機器、建設機械、機械設備まで、
130年にわたり社会基盤の充実と発展に幅広く貢献してきました。
インフラストラクチャー創造企業として、人々の暮らしを支えるさまざまな製品を提供しています。

設立–1940年代

主な出来事

経営安定化のため、鉄道車両以外にもさまざまな機械製品等を製造

数々の日本初の製品を世に送り出す

- 設立(1896)
- 不況で注文が激減、機械製品の製造委託契約により経営の安定を図り乗り切る(1898)
- 橋梁事業に本格参入(1926)
- 東証、名証に再上場(1949)



1950–1960年代

鉄道事業生産の拡大
積極的に新分野を開拓し、兼業進出が本格化

貨車や特殊自動車の製造・販売が本格的に

- 総合機械メーカーへ転換を開始し、兼業への進出が本格化する(1955)



1970–1980年代

社会のニーズに応える製品開発で事業構造が変化

組織の効率化や外部企業との連携を強化

- タンクローリ1,000台突破(1970)
- 農業近代化により産業機械部門やプラント部門が躍進(1972)
- 新幹線1,000両突破(1989)



1990年代–現在

事業構造のリストラクチャリングを断行、事業基盤の回復

新幹線累計製造両数4,500両を達成

- 創立100年(1996)
- 新幹線2,000両突破(2002)
- 民生用バルクローリ1,000台突破(2006)
- 新幹線3,000両突破(2010)
- 民生用バルクローリ2,000台突破(2019)
- 新幹線4,000両突破(2019)
- 新幹線4,500両突破(2024)



鉄道車両事業

鉄道車両／貨車／自動車その他

1900年 日本初の私有貨車



当社初 1918 | 蒸気機関車



日本初 1927 | 地下鉄車両



1964 | 0系



日本初 1961 | 前面展望式パノラマカー



1980 | 200系



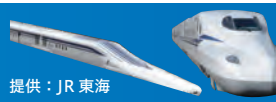
1980 | NICTD向け通勤電車



1992 | 300系



2012 | リニアL0系



提供：JR 東海

2018 | N700S



2022 | 315系 技術ブランド「N-QUALIS」の立上げ



輸送用機器・鉄構事業

輸送用機器／橋梁

1926 | 庄内橋



機関車のボイラー等の製造技術を活用

1955 | タンクローリ販売開始



1985 | 当時世界最大の700t積自走式キャリヤ



1993 | レインボーブリッジ



2019 | ML運搬台車



2023 | 国内最大積載量LNGタンクセミトレーラ



2024 | 夢洲大橋



建設機械事業

建設機械

1959 | 建設機械の製作を開始



世界初 1962 | 三点式大型杭打機を開発



1987 | 全回転チュービング装置RTシリーズの開発



2011 | 日本最大級アースドリル



2023 | 障害撤去機DHRシリーズの開発



エンジニアリング事業

鉄道機械／営農施設／産業機械

1966 | カントリーエレベーター



宝山製鉄所の構内輸送設備と付帯設備一式を製作

1979 | 中国宝山プロジェクト



2002 | リニモ



2017 | 先頭車研ぎ装置



2022 | トイレットロール包装機

